

横浜のクラシック音楽の歴史が、はじまった。

安政6年(1859)、東海道からも外れた寒村に港がつくられたとき、世界に向けて大きな扉が開かれた。

ここ「横浜」から、ありとあらゆる西洋文明が、まさに怒濤のように日本にもたらされたのです。

街を行き交う異人たちのきらびやかなドレスや洒落た小物。

横浜浮世絵と呼ばれた色鮮やかな錦絵に描かれた情景や、外国人居留地の劇場から聞こえてくるのは、

えもいわれぬ甘美な旋律。

日本のクラシック音楽の歴史は、まさに、ここ「横浜」からはじまったのです。

明治から百五十年。

いま、日本における西洋とは何かを、音楽からみつめなおす

「横浜音楽物語」が、フィリアホールではじまります。

2023年度からはじまった、レクチャー講座とコンサートの両面で、「横濱」と「クラシック音楽」がおりなしてきた歴史に焦点を当てる新シリーズ「横濱音楽物語」。現代日本人が普段耳にしている、西洋音楽由来の様々な音楽の歴史が、実は「横浜」の地に深く根差していることを改めて見直し、当時の歴史の実情に迫りながら「いま、日本における西洋とは何かを、音楽からみつめなおす」ことをこの企画では目指しています。様々なテーマによるレクチャー講座に加え、コンサートでは歴史的演奏会の再現を行うのみならず、特定のテーマに基づいたコンセプチュアルなプログラムで、ただ「聴く」だけではない形で、「横濱」と「音楽」の関係を紹介しています。

第1回「**再現!黎明期のクラシック演奏会 in 横浜**」では、講座で明治期の横浜山手を中心とする西洋音楽の流入と普及の流れをご紹介し、コンサートではかつて山手に所在した「ゲーテ座」で開催されたクラシックコンサートを、演奏順や構成を忠実に、優れた若手演奏家たちによって再現した公演を行いました。また第2回「**横濱ピアノ物語**」では標題の通り「ピアノ」と横浜の歴史に焦点を当て、2回の講座とコンサートを開催。講座では日本人に最も身近な西洋楽器の一つであるピアノの国内普及の歴史における横浜の重要性を講座でご紹介し、またあの大作曲家プロコフィエフが横浜グランドホテルで行ったリサイタル・プログラムを、横浜在住の優れたピアニスト・阪田知樹の実演で再現するコンサートを行いました。

今回の第3回のテーマは「**ヨコハマ「うた」物語**」。今や歌謡曲でも多くの題材になる横浜の街ですが、横浜そして日本における西洋声楽受容の歴史をひもとくと、二人の重要な音楽家が浮上します。ひとりとは、日本で初めて「カルメン」を演じ「カルメンお美」の異名を得た、日本の声楽界のパイオニアである偉大な声楽家・佐藤美子。フランスで学んだ彼女は20世紀初頭を代表する声楽家であるのみならず、日本初の公共音楽専用ホール・神奈川県立音楽堂の創立に深くかわかり、横浜市民広間演奏会、横浜シテリオペラの発足にも関わるなど、現在の横浜の音楽界に深く影響を及ぼしました。そしてもう一人はご存じ、長らく横浜を拠点に多くの名歌曲を生み出した作曲家・中田喜直です。

前回と同じく2回の講座とコンサートで構成された第3回、まず1回目の講座では、横浜をベースに日本における20世紀前半の西洋の声楽受容と振興についてご紹介。5月のコンサートでは「カルメンお美」に焦点を当てた魅力的な曲目を、名手・森谷真理を迎えたトーク&コンサートでご紹介!そして第2回の講座では、中田喜直を軸とした横浜における作曲・声楽界について紹介予定。

明治・大正から少し時代をさかのぼり、「うた」によって「横浜」と「西洋」、音楽・文化・アートが交差した20世紀初頭の諸相…興味は尽きません。

佐藤敬・佐藤美子夫妻(1935年6月)



横濱音楽物語(全6回予定)

第1回◎ 再現!黎明期のクラシック演奏会 in 横浜

第2回◎ 横濱ピアノ物語

第3回◎ **ヨコハマ「うた」物語** 「横浜」と「西洋」、音楽・文化・アートが交差する

第4回◎ 横浜現代作曲家探訪 コンサート&レクチャー・シリーズ

第5回◎ 横浜オーケストラ物語

第6回◎ 横浜・青葉台・フィリアホール〜田園都市と音楽文化

第4回以降は、2026年以降に開催予定です。内容・タイトル等予告なく変更の可能性があります。各回の詳細は決定次第発表いたします。

「ヨコハマ『うた』物語」

レクチャー講座&コンサートの構成

レクチャー講座①

2025

4.12 [土] **14:00** (約90分)

日本と西洋の「声楽」そして佐藤美子

1回目の講座では、西洋音楽が流入した時代の横浜の「声楽」の受容について、そして5月のコンサートでも取り上げる佐藤美子を中心とした当時の声楽界についてご紹介します。



聴講申込受付 1月20日(月) 11:00～定員に達し次第

レクチャー講座②

9.28 [日] **14:00** (約90分)

作曲家・中田喜直と横浜

2回目の講座では、横浜を拠点に日本を代表する歌曲を多数生み出した作曲家・中田喜直と当時の時代についてご紹介します。



聴講申込受付 6月23日(月) 11:00～定員に達し次第

レクチャー講座共通

会場 フィリアホール・リハーサル室

講師

浦久俊彦(文筆家・文化芸術プロデューサー) 司会◎芥川純一(フィリアホール館長)

(両回とも生演奏の予定はありませんのでご了承ください)

定員 40名 (未就学児入場不可)

聴講料 無料

聴講申込 事前申込制 フィリアホールチケットセンター 窓口および電話(☎045-982-9999)にて申込受付

浦久俊彦

講師・ナビゲーター/ 文筆家、文化芸術プロデューサー

URAHISA Toshihiko - Navigator

文筆家、文化芸術プロデューサー。一般財団法人欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、愛知県教育委員会教育アドバイザー、三島市文化アドバイザー。パリを拠点に文化芸術プロデューサーとして活躍。帰国後、三井住友海上しらかわホールのエグゼクティブ・ディレクターを経て、現在、浦久俊彦事務所代表。多彩なアーティストのオリジナル企画を手がけるほか、文化芸術ナビゲートとしても全国で活躍している。また、日本とヨーロッパの文化交流、教育・人材育成、地域文化の振興など、その活動は多岐にわたる。2021年3月、サラマンカホール音楽監督として企画した『ぎふ未来音楽展2020』が、サントリー芸術財団第20回佐治敬三賞を受賞した。著書に『138億年の音楽史』(講談社)、『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』『ベートーヴェンと日本人』(以上、新潮社)、『オーケストラに未来はあるか(指揮者・山田和樹との共著)』(アルテスパブリッシング)など。2020年6月『フランツ・リストはなぜ〜』の韓国語版が韓国で出版された。最新刊は『リベラルアーツ〜「遊び」を極めて賢者になる』(集英社インターナショナル)。公式ホームページ: <http://www.urahisa.com>



トーク&コンサート

5.11 [日] **14:00** (約120分・休憩あり)

「カルメンお美」佐藤美子と横濱の軌跡 森谷真理 ソプラノ・リサイタル with 浦久俊彦

コンサートでは、講座第1回でもご紹介する佐藤美子がレパートリーとしていたオペラアリア・歌曲、また第2回でご紹介する中田喜直作品をはじめとする歌曲を、注目著しいソプラノ歌手・森谷真理が実演!浦久俊彦のトークも交えて、音楽と言葉の両面で「知って感じる」コンサートです。

コンサートの詳細は表面をご覧ください。